

## 横田基地におけるCV-22オスプレイ飛行について（要請）

令和5年1月19日の午後から夜間にかけて、CV-22オスプレイ2機が瑞穂町市街地上空を普段とは異なる基地西側から進入するコースで飛行訓練を行い、離発着を繰り返していた。さらには市街地上空でのヘリモードによる侵入、高度100m以下と思われる超低空での飛行も目視により確認している。また、町の測定器においては、100dbを超える爆音が記録されている。

これまでも、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会の要望では、横田基地周辺市街地上空での低空飛行及び旋回飛行を行わないこと、オスプレイの運用等について最大限の配慮を行うことを再三申し入れてきた。

しかし、今回のこの状況は逸脱しており、受忍の範囲を超えている。

今後、市街地上空での低空飛行及び旋回飛行を行わないよう、強く要請する。

令和5年1月20日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン 大佐 殿

瑞穂町長 杉浦裕之